

令和6年度 特別養護老人ホームなりすな事業計画

令和6年3月28日

1 なりすな運営基本方針

『福祉の心は人間の尊厳を学び、何人にも畏敬の念を持って接することから始まる』

- 一、 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供に努めます。
- 一、 明るく家庭的な雰囲気のもとで、地域や家庭との結びつきを重視した運営に努めます。
- 一、 質の高い介護、リハビリを提供することにより自立と家庭復帰に努めます。
- 一、 常に向上心をもって、介護技術の研鑽に努めます。
- 一、 職員同士お互いを思いやり、助け合う職場風土を築くように努めます。

2 運営事業

<特別養護老人ホームなりすな>

- ▶ 特別養護老人ホームなりすな1号館（多床室） 定員 50名
- ▶ 特別養護老人ホームなりすな2号館（ユニット型） 定員 36名
- ▶ （介護予防）短期入所生活介護事業所 利用定員 10名

<令和6年度稼働率目標>

1号館：96.0% 2号館：84.0% ショートステイ：89.0% 全体：90.8%

3 今年度の主な事業方針

新型コロナウイルス感染症も5類へ引き下げとなり1年が経過し、コロナ禍前の生活に戻りつつある。そういった中、令和6年4月から医療・介護・障害の報酬改定がある。特養ではプラス改定となっており更なるサービスの質向上に努めなければならない。生産性向上を図る観点から、ICT機器を使ったテクノロジーの促進、業務の効率化等働きやすい職場環境づくりを推進していく。

年始においては能登半島で地震があり自然災害の恐ろしさを痛感している。日頃の備えを万全にし入居者、家族が安心して施設に預けられるよう体制を整え、机上訓練等を実施し訓練を活かし事業継続計画(BCP)の見直しを継続的に行なうことで切れ目のないサービスを提供する。

また、近年施設職員による高齢者虐待や身体拘束が増加傾向にあることから高齢者虐待防止の推進、身体的拘束等の適正化の推進が義務付けられた。日頃からの声掛けや、施設内研修を通し自身のケアを振り返る。コロナ対策として行動制限してきたことで、職員のストレスが蓄積していることも考えられるため、上司の関わりやメンター制度を活用し職員のストレス緩和、メンタル不調を早期発見することにより離職防止等に繋がるよう引き続き支援する。

4 主な取り組み内容

I 次世代を担う職員の育成

キャリア形成支援ではキャリアコンサルによる面談を通じ自身のキャリアアップのために何が足りていないかを整理し自身の成長に繋げていく。また、上司による面談は年2回実施し、部下の成長を確認するとともに普段からの関わりを密にすることで信頼関係を構築する。

そして、施設内外の研修に参加する機会を与え、他施設、多職種等と交流することで自分の意見を発信し、自分自身を振り返る機会を設け、研修で学んだノウハウをケアの中で反映し、多角的な角度から物事を捉える視点を養うよう育成する。

<外部研修予定>

認知症介護基礎研修	令和6年度実践者研修受講予定者	2名
認知症介護実践者研修	介護職員	2名
認知症介護実践リーダー研修	実践者研修修了者	1名
ユニットリーダー研修	未受講者	1名
喀痰吸引研修		1名
キャリアパス研修		
① 新人職員	管理栄養士、調理員	2名
② 中堅的職員	職務経験3年以上の者	1～2名
③ チームリーダー	主任・リーダー級、副主任・サブリーダー級	1～2名
④ 管理職		1名
各関係機関開催研修		
① 鳥取県経営者協議会	施設長、副施設長	
② 鳥取県老人福祉施設協議会	施設長他、職員	
③ 老人福祉施設職員研修会	職員	
④ 介護労働安定センター等		

<内部研修予定>

階層別研修	キャリアコンサルタントによる内部研修
感染症対策内部研修	外部講師
ハラスメント研修	衛生管理者
各種委員会が企画する研修	衛生管理に関すること 身体拘束、高齢者虐待防止に関すること 事故、安全対策に関すること 感染予防に関すること 腰痛予防、ポジショニングに関すること 事業継続計画（BCP）に関すること

II 安心・安全なサービスの提供

安心・安全なサービスを提供していくためには、各委員会が中心となり目的をしっかりと理解したうえで多職種が協働し入居者のケア、ADL 向上、生産性向上に向け取り組む。「どうしてこの委員会を立ち上げたのか」「なぜこの委員会があるのか」「この委員会は本来何をすべきか」という原点に立ち返り、上司は部下へ指導を行なうとともに連携を図り実施する。

<各種委員会>

令和6年度特別養護老人ホーム委員会		
	委員会名	目 的
施設運営に係る委員会	衛生委員会	労働者の健康障害や労働災害を防止すること
	感染対策委員会	院内感染防止、感染症発生時の対応
	身体拘束・高齢者虐待防止委員会	身体拘束をしない、高齢者虐待の防止
	苦情解決	ご家族、入居者からの苦情受付とサービスの向上を図る
	事故対策	事故の未然防止、事故分析を行ない再発防止に努める
	認知症ケア	認知症者が人として当たり前の生活を送ることができるよう支援する
	防災	自然災害時の対応や事前準備を行なう
	生産性向上	介護現場における生産性向上に資する取組の促進を図る
サービスの質向上に係る委員会	看取り委員会	終末期の生活を支援する
	口腔ケア委員会	歯科医師、歯科衛生士と連携を行ない口腔内の清潔を保つ
	褥瘡委員会 ポジショニング委員会	褥瘡予防と早期発見、ベッド上で安楽な姿勢を保ちねじれや拘縮を予防する
	ICT機器促進委員会	ICT機器を活用し業務の効率化を図る
	食事委員会	入居者に合った食事環境を整え、食中毒の予防に努める
	腰痛予防対策委員会	福祉用具を活用し腰痛予防に努める
	行事委員会	季節感を味わうことや楽しみのある生活を送ることができる
	美化委員会	快適に生活できるよう生活空間の環境整備を行なう
	メンター育成委員会	新人も自分たちも働きやすい職場づくり
その他	祭り委員会	入居者、家族との繋がりを大切にし、一緒に楽しい時間を過ごす

Ⅲ 地域に信頼される施設づくり

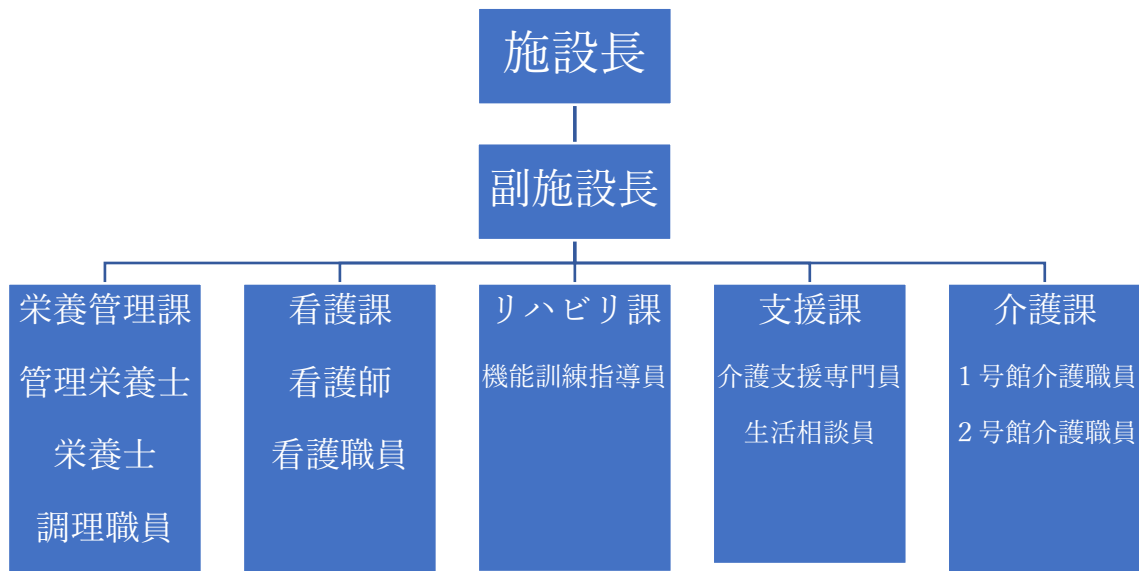
在宅から施設サービス、最期は看取りまでという施設の役割と存在意義をデイサービスと連携し示していくことで、家族や地域に開かれた施設運営を提供するとともに「青谷町にはなりすながあるから大丈夫」と地域住民に信頼されるよう、地域貢献活動を通じ地域との関係性を深める。

また、人材確保の観点では、ボランティアの受入や高等学校や専門学校、短期大学、大学生と幅広くアプローチを継続して行い、「介護の魅力」を発信し職員確保に繋げる。

<地域貢献活動>

オレンジカフェ	毎月第4木曜日
すくすく保育園との交流	年3回(5月、7月、10月)
地域サロンへの職員派遣	随時
認知症に関する教育講師派遣	随時
介護の日イベント実施	感染状況を見ながら実施予定
地域ボランティア活動	青谷町総合支所花植え作業
地域イベントへの参加	あおいち等

<特別養護老人ホームなりすな組織図>



令和6年度予算書

特別養護老人ホームなりすな

令和6年3月28日

● 収入の部

(単位:円)

大区分	中区分	小区分	R6年度予算	前年度当初予算	差異	摘要
介護保険 事業収入	施設介護料 収入	介護報酬収入	279,500,000	271,000,000	8,500,000	R6年報酬改定(単位数UP)
		利用者負担金収入(公費)	300,000	300,000	0	全体稼働率(90.8%)
		利用者負担金収入(一般)	30,500,000	30,000,000	500,000	入居 " (91.0%)
	居宅介護料 収入 (ショートステイ)	介護報酬収入	28,500,000	27,000,000	1,500,000	ショート (89.0%)
		介護予防報酬収入	50,000	50,000	0	要支援
		利用者負担金収入(公費)	100,000	100,000	0	
		利用者負担金収入(一般)	3,000,000	2,900,000	100,000	
		介護予防負担金収入(公費)	10,000	10,000	0	
		介護予防負担金収入(一般)	10,000	10,000	0	
	利用者等 利用料収入	施設サービス利用料収入	10,000	10,000	0	
		居宅介護サービス利用料収入	50,000	100,000	△ 50,000	
		食費収入(公費)	11,000,000	13,000,000	△ 2,000,000	
		食費収入(一般)	30,000,000	28,500,000	1,500,000	
		居住費収入(公費)	11,300,000	13,000,000	△ 1,700,000	
		居住費収入(一般)	28,500,000	26,500,000	2,000,000	
		その他の利用料収入	700,000	1,000,000	△ 300,000	
	その他の 事業収入	補助金事業収入	10,000	10,000	0	
		受託事業収入	60,000	60,000	0	
小 計			423,600,000	413,550,000	10,050,000	
その他 事業収入	その他事業収 入	補助金事業収入	0	10,000	△ 10,000	
経常経費寄附金収入			200,000	200,000	0	
受取利息配当金収入			10,000	20,000	△ 10,000	
その他 の収入	受入研修費収入		10,000	20,000	△ 10,000	
	利用者等外給食費収入		50,000	50,000	0	
	雑収入		300,000	250,000	50,000	講師派遣等
退職給与引当金取崩収入			3,700,000	6,500,000	△ 2,800,000	
拠点区分間長期貸付金回収収入			0	0	0	
賞与引当金取崩収入			14,600,000	13,700,000	900,000	R5引当額
人件費積立金取崩収入			0	0	0	
修繕費積立金取崩収入			0	0	0	
前期末支払資金残高取崩収入			44,000,000	22,000,000	22,000,000	固定資産及び人件費等
事業活動収入計 (1)			486,470,000	456,300,000	30,170,000	

● 支出の部

(単位:円)

大区分	中区分	小区分	R6年度予算	前年度当初予算	差異	摘要	
人件費支出	職員給料支出	職員俸給	160,400,000	156,400,000	4,000,000	計画人員59名	
		職員諸手当	38,720,000	38,600,000	120,000	給与規定改正	
	職員賞与支出		42,900,000	44,000,000	△ 1,100,000	3.4か月	
	非常勤職員給与支出		39,736,000	28,490,000	11,246,000	再雇用6名、パート20名	
	退職給付支出	退職共済掛金	728,000	730,000	△ 2,000		
		退職給与引当金	3,700,000	6,500,000	△ 2,800,000	定年退職者(4名)	
	法定福利費支出		44,220,000	41,250,000	2,970,000		
小 計			330,404,000	315,970,000	14,434,000		
事業費支出	給食費支出		27,200,000	25,500,000	1,700,000	材料費高騰	
	介護用品費支出		6,080,000	6,700,000	△ 620,000		
	保健衛生費支出		4,200,000	4,000,000	200,000		
	被服費支出		20,000	30,000	△ 10,000		
	教養娯楽費支出		1,100,000	850,000	250,000	音響設備導入(DAM*264千円) 流しぞうめん,他	
	日用品費支出		310,000	300,000	10,000		
	水道光熱費支出		22,000,000	24,000,000	△ 2,000,000	電気代平年並	
	燃料費支出		1,600,000	1,600,000	0		
	消耗器具備品費支出		3,050,000	3,000,000	50,000		
	保険料支出		151,000	151,000	0		
	賃借料支出		3,250,000	3,200,000	50,000		
	葬祭費支出		10,000	10,000	0		
	車輛費支出	車輛燃料費支出		515,000	500,000	15,000	
		その他車輛費支出		500,000	300,000	200,000	
雑費		50,000	50,000	0			
小 計			70,036,000	70,191,000	△ 155,000		

(単位:円)

大区分	中区分	小区分	R6年度予算	前年度当初予算	差異	摘要
事務費支出	福利厚生費支出		2,625,000	2,900,000	△ 275,000	
	職員被服費支出		210,000	210,000	0	
	旅費交通費支出		100,000	80,000	20,000	
	研修研究費支出		500,000	370,000	130,000	新型コロナ第5類移行により 対面研修再開
	事務消耗品費支出		920,000	1,200,000	△ 280,000	
	印刷製本費支出		210,000	250,000	△ 40,000	
	修繕費支出		5,600,000	6,000,000	△ 400,000	年間予算3,000千円 蛇口取替、介護用品修繕等
	通信運搬費支出		910,000	1,000,000	△ 90,000	

事務費	会議費支出	10,000	10,000	0	
	広報費支出	570,000	550,000	20,000	
	業務委託費支出	7,753,000	7,385,952	367,048	特殊建築物定期調査(3年ごと)
	手数料支出	70,000	200,000	△ 130,000	振込業務、本部移管
	保険料支出	960,000	900,000	60,000	
	賃借料支出	2,175,000	1,750,000	425,000	勤務管理ソフト検討
	租税公課支出	905,000	630,000	275,000	車検及び本部負担
	保守料支出	2,300,000	2,150,000	150,000	本部負担増
	渉外費支出	450,000	350,000	100,000	慶弔関係(利用者)等、R5年度参考
	諸会費支出	397,000	370,000	27,000	
	雑支出	50,000	50,000	0	
小 計		26,715,000	26,355,952	359,048	
利用者負担軽減額		1,000,000	500,000	500,000	法人減免額(施設負担分)
支払利息支出		245,000	296,000	△ 51,000	
その他の支出	利用者等外給食費支出	50,000	50,000	0	
	雑支出	130,000	180,000	△ 50,000	地域貢献活動
事業活動支出計 (2)		428,580,000	413,542,952	15,037,048	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		57,890,000	42,757,048	15,132,952	
固定資産取得支出	建物取得支出	0	0	0	
	建物付属設備取得支出	4,950,000	0	4,950,000	電子錠他
	車輛運搬具取得支出	5,000,000	0	5,000,000	送迎用車輛入替
	器具及び備品取得支出	13,600,000	3,800,000	9,800,000	特浴購入検討
その他の施設設備	ソフトウェア	0	0	0	
設備資金借入金元金償還支出		5,880,000	5,880,000	0	令和1年空調入替借入資金
施設整備等支出計 (4)		29,430,000	9,680,000	19,750,000	
積立資産支出	退職給付引当資産支出	7,481,000	8,916,772	△ 1,435,772	
	人件費積立支出	0	0	0	
	修繕費積立支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出		5,000,000	7,000,000	△ 2,000,000	デイサービス人件費
長期貸付金		130,000	0	130,000	資格取得支援 ※2名介護福祉士
長期貸付金引当金		0	0	0	
賞与引当金		14,600,000	15,000,000	△ 400,000	
その他の活動支出計 (5)		27,211,000	30,916,772	△ 3,705,772	
予備費 支出(6)		500,000	500,000	0	
当期資金収支差額合計 (7)=(3)-(4)-(5)-(6)		749,000	1,660,276	△ 911,276	